

事業名 CD		保育園統合推進事業	
細分化した事業名			
事業担当課室 CD	200300	福祉課	整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり	
	中項目	子どもを安心して生み、育てられる社会の実現	
	小項目	子育て環境の整備	
関連する個別計画等	韮崎市次世代育成支援地域行動計画	根拠条例等	
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	市内にある保育園の効率的運営と保育サービスの充実のため再編整備計画を策定する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市内9保育園の運営と保育サービス充実
これまでの改善経過	平成21年度に統合構想検討委員会により市内9園を統合すべきとの提言を受け、平成22年度より保育園再編整備計画策定委員会が設立され、再編整備について検討中である。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 □補助金 □その他() 学識経験者、教育関係者、施設設置者、保護者代表、子育て代表、各地域関係者等、14名による委員会を設置しおよそ3月に1回委員会を開催。その事前に必要に応じて市内ワーキンググループによる会議により原案をつめている。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	再編保育園の数、おおよその設置ゾーン、保育サービス内容、設置時期などを計画する。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)			197
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源			197
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)			0.3
C	人件費(平均人件費×E) (千円)			2,046
D	総事業費(A+C) (千円)			2,243
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	133 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	開催回数	開催回数／開催計画回数 (3回／4回) × 100%			75
成果指標	延べ委員数(人) 14 × 3 回	延べ出席委員数／延べ委員数 (34人／42人) × 100%			80.9
効率指標	(指標がわからない)	予定費用／実施費用			1.24

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 市内各地域関係者、学識経験者、施設代表、保護者代表、子育て代表のよる話し合いなので妥当
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない いまのところ少々遅れ気味ながらではあるが成果は上がっている。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 効率的である。この種の委員会においては効率的という判断は基準外であると思う。
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	(1) 中長期的 (2) 24 年度 (3) 23 年度 計画策定し市長へ報告
	22 年度の改善計画 8月の立ち上げ、翌年度にまたがる委員会開催のため委員の立場が微妙となる場合があるが、一貫性を保つために、策定まで同じ委員で策定にあたる。1年間で策定できるように計画的に進行する。
	22 年度の改善結果 委員会開催回数が1回少なく、進行にやや遅れが出ている。委員が市外に転出し委員として継続が不可能な人ができてきている。
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	
課長所見	統合構想検討委員会の提言内容に沿って、具体的な計画案を国の動向も見据える中で策定する必要がある。